5）The system should be a medical device to support operating endoscopic instruments that holds, incises, peels off sully／sharply and ligates tissue or foreign material and incises, coagulates, sutures and manipulates them using high frequency current and inserts and carries surgical accessories when performing endoscopic surgery.

6）The system should have surgical operation control to operate a surgery, vision system that shares video and controls the computer, surgical robot arm to dock a patient and to reflect surgical operation.

⑸　Time limit for the submission of the requested material：17：00　30 September, 2022

⑹　Contact point for the notice：Yasuhiko Nakamura, Procurement management Section, Hospital Management Division, Hospital Department, Kanazawa University, 13―1 Takara-machi Kanazawa-shi 920―8641 Japan, TEL 076―265―2067

○第４号

１　調達内容

⑴　品目分類番号　22、31

⑵　導入計画物品及び数量　手術部機能強化システム　一式

⑶　調達方法　購入等

⑷　導入予定時期　令和５年11月以降

⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件

１）ＭＲ―ＯＲシステム

①　マグネット形式は超電導で稼働静磁場強度は3.0Tであること。

②　ガントリボア中心部の径は、大口径タイプであること。

③　通常検査において液化ヘリウムの消費がない機構を有すること。

④　傾斜磁場強度は、３軸各々で最大出力が可能であること。

⑤　スリューレートは、３軸各々で最大出力が可能であること。

⑥　患者寝台は外科用手術寝台と連携可能であること。

⑦　手術時の撮像に対応したＲＦコイルを有すること。

２）Hybrid-ORシステム

①　Ｘ線管球と検出器の対が２セットあるバイプレーンシステムであること。

②　術者及び患者の被ばく低減システムを有すること。

③　寝台との連動が可能なこと。

④　既存の病院情報システム（ＨＩＳ）、放射線情報システム（ＲＩＳ）、読影システム及び画像ネットワーク（ＰＡＣＳ）と接続可能であること。

⑤　大型モニタを有すること。

⑥　画像を処理できるワークステーションを有すること。

３）手術映像管理システム

①　各手術室の術野画像、術中画像、生体情報等を集中管理するシステムであること。

②　既存の画像管理システムと接続可能なこと。

③　４Ｋ高解像度画質（3840×2160）にて術野映像を撮影でき、リモコンで縦方向、横方向、回転、ズームさせて、実際の術式、術野に応じてカメラ操作が可能であること。

④　４Ｋ高解像度画質（3840×2160）にて表示ができる医療用モニターであること。

⑤　すべての手術室の術野映像を高解像度画質で１年間、圧縮した低解像度で５年間保存録画でき、録画映像は日付、患者ＩＤ、診療科等で検索できること。

⑥　術野カメラ、各医療機器映像、画像をタッチパネルを使用し、簡易操作で録画でき、サーバーシステムでの長期保存が可能であること。

⑦　すべての手術室の術場（全景）カメラと録画している術野映像が複数個所で視聴できること。

⑧　手術中に病理と画像、映像及び音声の双方向通信ができること。

４）超音波画像診断装置

①　超音波画像診断装置Ａ

１―１　リアルタイム３Ｄ経食道超音波検査に対応していること。

②　超音波画像診断装置Ｂ

２―１　経食道超音波検査に対応かつ持ち運び可能な装置であること。

③　超音波画像診断装置Ｃ

３―１　周術期管理中心静脈穿刺に対応していること。

④　超音波画像診断装置Ｄ

４―１　手術支援ロボットに対応していること。

５）移動型Ｘ線装置

①　移動型Ｘ線装置

１―１　Ｃアーム型装置であること。

１―２　デジタル撮影機能を有すること。

１―３　被ばく低減機構を有すること。

１―４　既存の病院情報システム（ＨＩＳ）、放射線情報システム（ＲＩＳ）、読影システム及び画像ネットワーク（ＰＡＣＳ）と接続可能であること。

②　ＤＳＡ機能付き移動型Ｘ線装置

２―１　Ｃアーム型装置であること。

２―２　デジタル撮影機能を有すること。

２―３　被ばく低減機構を有すること。

２―４　既存の病院情報システム（ＨＩＳ）、放射線情報システム（ＲＩＳ）、読影システム及び画像ネットワーク（ＰＡＣＳ）と接続可能であること。

２―５　Digital subtraction angiography機能を有すること。

６）回診用移動型Ｘ線撮影装置

①　パンタグラフアームにより撮影ポジションの調整が容易であること。

②　小型設計で小回りが利くこと。

７）患者搬送システム

①　患者の入退室が安全かつ円滑にできること。

②　術式にあわせた手術台又は手術台用テーブルトップの入庫及び出庫が容易にできること。

③　多種多様な術式に対応した手術台であること。

④　既存の手術部保有の手術台アクセサリーと互換性があること。

８）無影灯・シーリングペンダント　アンカリングシステム

①　無影灯は、天吊型で、術野深部まで光野が届く手術用照明灯であること。

②　無影灯は、２軸２灯式であること。

③　無影灯は、映像システム用モニターが懸架できるシステムであること。

④　シーリングペンダントは、天吊型で、スタッフや物の動線、ケアスペース、処置やケアの効率化を考慮したレイアウトが可能であること。

⑤　シーリングペンダントは、医療ガス、電源等の供給が可能であること。

９）急性期患者情報システム

①　手術中の麻酔記録、患者のバイタルデータ、投薬情報が記録可能なこと。

②　生体情報モニタや麻酔器のデータを自動で取得し、記録ができること。

③　既存の病院情報システム（ＨＩＳ）との連携が可能なこと。

10）麻酔システム

①　新生児から成人まで全ての患者に対応する自動換気モードを有すること。

②　呼気ガス再呼吸システムを使用した全身麻酔ができること。

③　麻酔システムのデータを急性期患者システムへ出力ができること。

11）生体情報モニタリングシステム

①　手術における患者の生体情報を連続的にモニタリングすることができること。

②　心電図／呼吸、非観血血圧、SpO２等、複数パラメータの測定可能であること。

③　生体情報モニタ本体とディスプレイは一体型であること。

12）自動倉庫システム

①　術式ごとにセット組されたコンテナの入庫及び出庫を速やかにできること。

②　350個以上のコンテナを省スペース収納できること。

13）血液浄化システム

①　血液透析に適した水を製造できる装置であること。

②　血液透析治療ができること。

③　急性の血液浄化療法に対応できること。